２０２３．４月号

渕野辺総合病院
地域連携ＮＥＷＳ
メディカルサポートセンター
地域医療連携課

肺癌診療を積極的に行っています

副病院長　阿部　典文

渕野辺総合病院は、2011年より肺癌に対して積極的に診療（検査、手術、化学療法等）を行っています。年々、患者数は増加し2021年は45名、2022年は46名の新規肺癌患者の診療を行いました。

近年、どの臓器領域においても化学療法・免疫療法等は進歩していますが、特に肺癌領域においては目覚ましい状況です。

また、薬剤の進歩と共に遺伝子解析も進み、薬剤治療の個別化が求められています。肺癌領域では組織検体で確定診断を行うだけでなく、各種遺伝子等（EGFR、ALK、ROS1、BRAF、Met、Ret、PD-L1、KRAS、NTRK等）を検討し、患者に一番効果的な治療薬を選択する必要があります。

当院では胸腔鏡を積極的に活用し、迅速で確実な診断と治療を行うように心掛けています。

また、肺癌の手術では、低侵襲化を目的に胸腔鏡手術を積極的に行っています。

肺癌診療は、消化器癌に比較して検査・治療を行う施設が少なく、遠距離通院等で患者にご負担がかかることが多いのが現状です。

当院では、これからもスタッフ一同、肺癌診断・治療において地域医療に貢献したいと考えていますので、ぜひご相談・ご紹介して頂ければ幸いです。

今後とも宜しくお願い致します。